

新規事業のスタートです!

11月に鶴城中学校から毎月実施する安全点検に地域ボランティアの協力依頼があり、今年1月からボランティアによる安全点検支援活動がスタートしました。

ボランティアとして協力いただくのは、宇土市老人クラブ連合会（通称：れいんぼ〜クラブ）の皆さんです。連合クラブの事務局に相談に伺うと二つ返事で快諾をいただきました。

3学期始業式の日全校生徒の前で4名のボランティアの皆さんを紹介していただき、第1回目を15日（木）に実施しました。

今後は毎月第1木曜日の昼休みに生徒たちと一緒に点検活動を実施する予定です。

この活動の目的は、下記の3項目になります。

- (1) 地域学校協働活動を通じて地域ボランティアに毎月の安全点検の一部を依頼することで、地域に開かれた学校の推進を図る。
- (2) 学校の施設設備の状況を地域の方々が点検する姿を全校生徒に知らせることで、生徒の施設設備の安全な取り扱いの意識を高める。**【安全委員会の生徒と協働】**
- (3) 教職員以外の視点を取り入れた安全管理の徹底と教職員業務の負担軽減を図る。

第1回目の点検には4名のボランティアが出席され、各階の廊下及び窓ガラス及び外のピロティーや玄関周りの点検を実施していただきました。

点検の際は、生徒会の安全委員の生徒2名にボランティア1名の計3名でそれぞれの施設の点検をしていただきました。生徒たちには、単なる安全点検だけでなくたくさん会話しながら活動をするようにお願いをしました。

点検後の意見交換の場では点検後の気づきに付いて積極的に発言していただきました。日頃の安全点検では気付かないような箇所について鋭い指摘をいただくことができました。

1回目とあって、初対面である安全委員会の生徒とボランティアの距離を縮めるためのアイスブレイキングゲームやクイズが準備され、一緒に遊んだり考えたりの時間から活動が始まりました。年齢的には大きな差はあるものの、ボランティアの方々も全て鶴城中学校出身です。校歌を口ずさめば互いに同窓生です。

これから息の長い活動になることを期待したいと思います。



上段左から、始業式での紹介、学校からの趣旨説明、アイスブレイキング、安全点検の様子（各階の廊下と窓ガラス、外のピロティー等）、そして、点検後の情報交換の様子。

今月の主な行事予定としては、17日（火）に本事業の第2回運営委員会を開催します。今年度の事業についてたくさんのご意見をいただき、次年度の活動に生かしていきたいと思ひます。

また、小学校への支援として3つの小学校でのじゃがいも種芋植えが予定されています。中学校では鶴城中学校での今年最後のボランティアによる読み聞かせを6日（金）に無事終えることができました。

地域学校協働活動は、学校と地域が連携・協働して双方向で取り組む活動です。